

4 深大寺通り周辺景観形成重点地区

(1) 建物などの色彩の現況

- ・低層小規模の建物が多く、建物の外壁基本色は、暖色系の色相の低彩度色となっています。特に彩度2以下が6割を超え、ほとんどの建物が彩度4以下となっており、統一感のある落ち着いた景観を形成しています。
- ・深大寺の参道付近に立地する土産物屋や飲食店などは、漆喰(しっくい)調の真壁(しんかべ)造りの和風建物が多く建ち並び、本地区固有の景観を形成しています。



国分寺崖線の濃い緑と湧水の恵みが深大寺地区らしさを感じさせる景観をつくっている



五色幕やダルマの色彩がにぎわいを演出している



深大寺地区らしい真壁造りの白い外壁や木枠のある建物の色彩事例

コラム

街づくり協定

本地区では「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づき認定された「深大寺通り周辺地区街づくり協定」が運用されているため、建築行為等の際には、景観法に基づく届出だけでなく街づくり条例に基づく届出を行う必要もあることから、事前に市に相談をお願いします。



（2）色彩基準

色彩基準の考え方

- ・外壁基本色は、国分寺崖線の緑に包まれた落ち着いた落ち着きある自然環境と歴史的・文化的な風情を感じさせる景観を継承し調和を図るために、暖色系の色相を基本に、極端に明るい色調を避けた彩度を抑えたものとしています。
- ・屋根色は、周囲の自然や街並みから突出しないよう、明度や彩度を抑えた色彩としています。

届出対象行為

行為	規模（以下のいずれかに該当するもの）
建築物の新築等	全ての行為
工作物 の新設等	全ての行為

工作物とは、建築基準法施行令第138条などに規定されるもののうち、一定のものとしします。

色彩基準による使用可能色等の範囲

外壁基本色			外壁強調色	屋根色（勾配屋根）	
色相	明度	彩度	彩度	明度	彩度
0R～4.9YR	4以上 8.5未満	4以下	4以下	6以下	2以下
5.0YR～5.0Y			6以下		4以下
その他			2以下		2以下



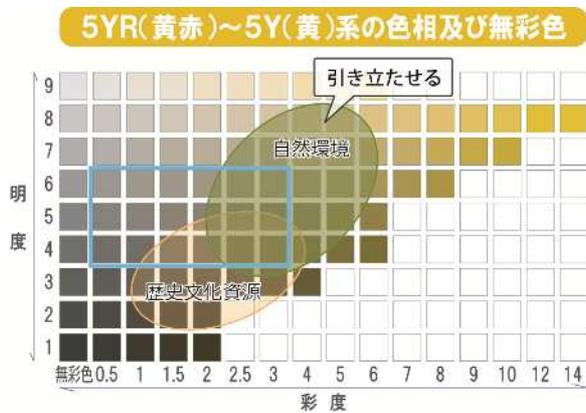
(3) 推奨色（外壁基本色）

推奨色（外壁基本色）の考え方

国分寺崖線の自然環境や歴史文化資源が印象付ける本地区固有の景観を引き立たせ、また調和させることにより、景観形成重点地区にふさわしい色彩誘導を図ります。推奨色は、Y R（黄赤）やY（黄）系の色相の中明度、低彩度を中心に選定しています。

推奨色（外壁基本色）の範囲

推奨色（外壁基本色）		
色相	明度	彩度
5.0YR～5.0Y	4以上 6以下	0.5以上 3以下



この色票は2.5Yの色相です。

推奨色パレット



日本塗装工業会の2015年H版塗装標準色より推奨色の範囲から選んだ例

(4) 景観形成イメージ

建物などの外壁：周辺の緑を引き立てるY R（黄赤）やY（黄）系の色相の中明度、低彩度を基調としましょう。

